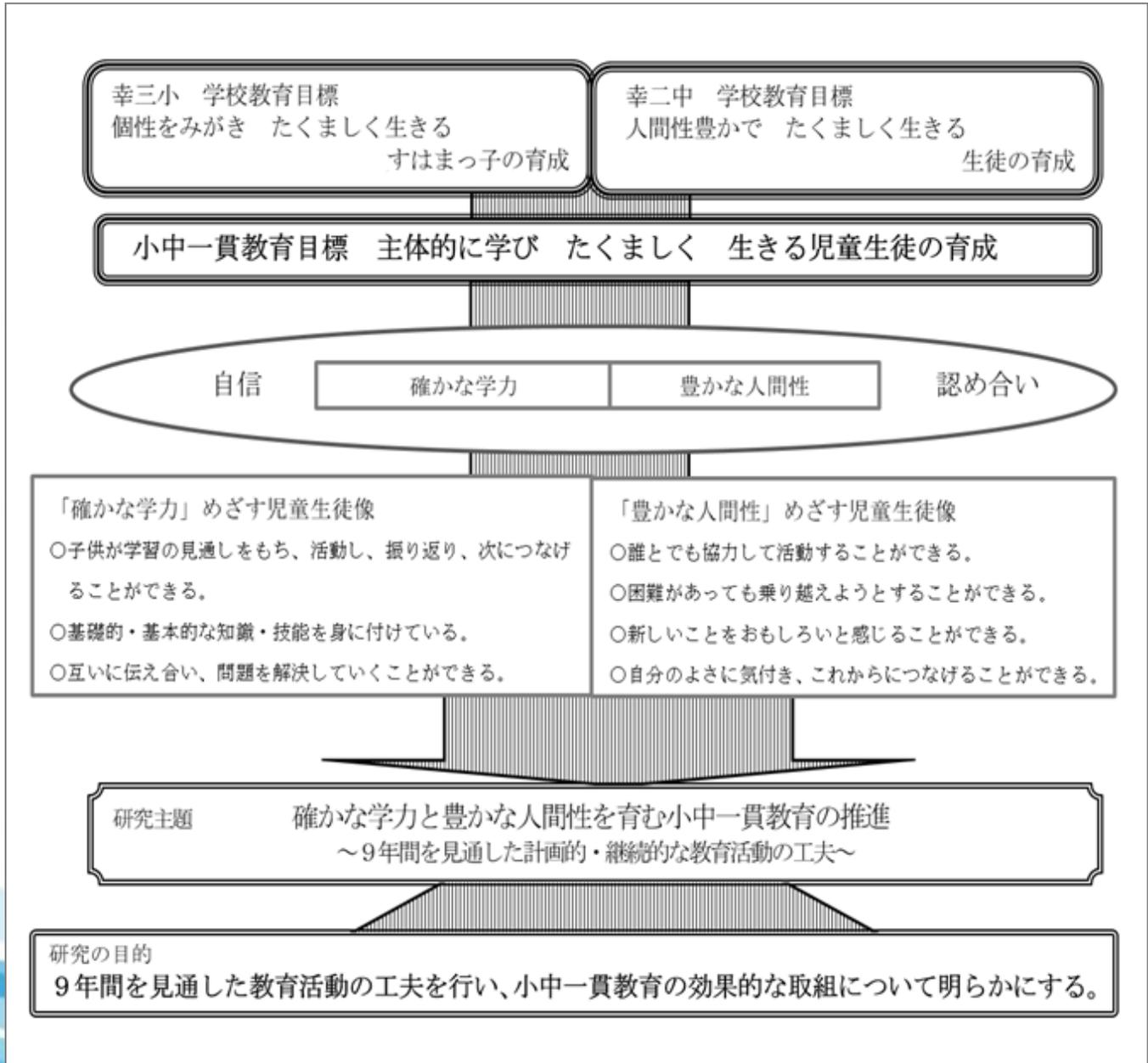


令和6年度
幸町第三小学校
幸町第二中学校
小中一貫教育

小中一貫教育研究主題
確かな学力と豊かな人間性を育む小中一貫教育の推進
～9年間を見通した計画的・継続的な教育活動の工夫～

1 研究の概要



2 研究内容

①小中一貫した学びへの取組

- ・小中で統一した9年間の学習ルールに基づく学び方の育成
- ・幸三小・幸二中一貫教育「確かな学力育成カリキュラム」(教科授業)と幸三小・幸二中一貫教育「豊かな人間性育成プログラム」(交流活動)のアップデートと実施

②中1ギャップ解消に向けた取組

- ・小学校一部教科担任(専科)制
- ・小中兼任教諭との連携授業

①小中教職員間の連携を深める取組

- ・小中授業参観ウィーク
- ・小中合同研修会
- ・合同教科部会
- ア 授業研究
- イ 交流活動

3 今年度の各部会の取組

<h2 style="text-align: center;">国 語</h2>	<p style="text-align: center;">文章の読みを深め、自分の考えを深める指導法の工夫</p>	
	<p>小「鳥獣戯画を読む」(小6) 文中の表現方法の工夫を見付け、どのような効果があるかをグループで話合った。</p> <p>中「君は『最後の晩餐』を知っているか」(中2) 文章の内容や形式に着目して読み、それを自分の意見の根拠としてグループで話し合った。</p>	<p>○話合いの観点や方法を工夫することで、文章を深く読むことができた。</p> <p>●意見を伝えるための言語活動の設定と、語彙力の向上を図る必要がある。</p>
<h2 style="text-align: center;">外国語・英語</h2>	<p style="text-align: center;">伝え合う力を培う指導法の工夫</p>	
	<p>小「Unit9 Who are you?」(小3・中1) 物語に登場した動物や形容詞の言い方に慣れ親しみ、英語を使った簡単なやり取りを行った。</p> <p>中「Our Project 7」(中3) プレゼンテーションでは、聞き手と話し手が即興で質疑応答し、双方向のやり取りを行った。</p>	<p>○小学生が自信をもって発表し、中学生は自己有用感が高まった。</p> <p>●Phonics 学習の重要性や交流授業の効果に対する理解が不可欠である。</p>
<h2 style="text-align: center;">算数・数学</h2>	<p style="text-align: center;">数学的な表現を用いて、わかりやすく説明する力を育成する指導法の工夫</p>	
	<p>小「見方・考え方を深めよう(1)」(小5・中1) ペア活動を行い、中学生に数学的な表現を用いて自分の考えを説明できるようにした。</p> <p>中「関数 $y=ax^2$」(中3) グループワークの様子をギガタブで共有し、自分自身の表現方法を振り返る工夫を行った。</p>	<p>○説明シートを活用することで、数学的な表現を意識して説明できた。</p> <p>●数学的用語と図で表現したことを関連づけて説明する力を大切にしたい。</p>
<h2 style="text-align: center;">社 会</h2>	<p style="text-align: center;">自ら考え、学び、課題を解決する活動の工夫</p>	
	<p>小「千葉県の年中行事」(小4) ICTを用いて友達の立場を確認しながら自分の考えを記入し、地域の祭りについての課題を解決する方法を伝え合った。</p> <p>中「日本の諸地域」(中2) 中国・四国地方に見られる人口の偏りについての解決策をグループごとに論述した。</p>	<p>○学習課題に沿った視点をもって資料の読み取りができるようになった。</p> <p>●知識や技能の定着に課題がある児童生徒に対する手立ての検討。</p>
<h2 style="text-align: center;">理 科</h2>	<p style="text-align: center;">協働して課題を解決する態度を育む指導法の工夫</p>	
	<p>小「わたしたちの体と運動」(小4) 犬、猫の全身骨格模型を人間と比較しながら、その特徴や違いなどをグループで話し合った。</p> <p>中「電流と回路」(中2) グループで指定された回路図をもとに、電流計・電圧計を組み込んだ回路をデータ提出した。</p>	<p>○児童生徒が興味・関心をもって問題の解決に取り組むことができた。</p> <p>●各単元における指導内容の系統性を意識した指導・支援を充実させる。</p>

<h2>保健・体育</h2>	<p style="text-align: center;">対話を通し、主体的に課題を解決する活動の工夫</p>	
	<p>小「表現リズム遊び」(小1) 動物カルタを行い、動物になりきって動いたり、友達のよいところを伝え合ったりした。</p> <p>中「バレーボール」(中3) 学習カードや作戦ボードを使い、チームや個人の動きや課題を把握しやすくした。</p>	<p>○互いのよいところを褒め合うことで、意欲的に動くことができた。</p> <p>●発達段階に応じた対話方法について、今後も検討していく必要がある。</p>
<h2>音楽</h2>	<p style="text-align: center;">伝え合い、表現し合う音楽活動の工夫</p>	
	<p>小「せんりつの重なりをかんじとろう」(小3) 挿絵からイメージを広げ、ペアでリコーダーの音色や演奏の速さ、拍を工夫できるようにした。</p> <p>中「ギターの色やコードの変化を感じ取って演奏しよう」(中2) タブレットを活用し、チューニングから学習を進めたことで、より良い音色で表現できた。</p>	<p>○自分の音色に関心を持ちながら練習したり、演奏したりできた。</p> <p>●表現力を高めつつ、技能の習得を目指す指導を行う必要がある。</p>
<h2>図工・美術</h2>	<p style="text-align: center;">造形的なよさや美しさを感じ取り、見方や感じ方を広げる指導法の工夫</p>	
	<p>小「ほり進めて 刷り重ねて」(小) 自他の作品と向き合う時間を多く設け、形や色の表れについて考えられるようにした。</p> <p>中「家紋(木彫)」(中) 各自の目標を自力解決できるように、制作手順や道具の使い方、参考資料を提示した。</p>	<p>○見通しや作品を見る機会を設けたことで、作品のよさに気付くことができた。</p> <p>●掲示物や指導内容を工夫することでより作品と向き合うことができるだろう。</p>
<h2>今年度の新たな取組</h2>		
<ul style="list-style-type: none"> ○どの学年も偏りなく小中の児童・生徒が交流できるように交流活動を整理。 ○小学校4・5・6年生と中学1・2年生による小中学校自由研究発表会の実施。 ○「家庭学習のすすめ」の見直し。 ○中学校3年生が小学校6年生に学習計画の立て方をアドバイス ○第三次千葉市学校教育推進計画をもとに学校評価アンケートを修正。 		

4 研究の成果と課題

<p style="text-align: center;">【成果】</p> <p>今年度も、カリキュラムをもとに各教科部会の視点や系統を意識して一人一授業実践に取り組んだ。また、どの学年も中学生と交流する機会がもてるように、各部会の交流活動と対象学年を見直しながらい計画を立てた。それによって、児童生徒が互いに親近感を感じるようになり、児童生徒の学習内容の理解が深まり、自己肯定感の高まりも見られた。</p> <p>また、今年度は継続可能な小中一貫教育を目指して、理科部会が中心となった小中合同自由研究発表会や中学校入学を見据え、中学校3年生が小学校6年生に学習計画の立て方をアドバイスする機会を設けた。交流活動などを通して、児童生徒や小中教員間の連携を高めることができた。</p>	<p style="text-align: center;">【課題】</p> <p>各教科で9年間を見通した多くの授業実践ができたが、実践を継続できるよう、協議や情報共有ができる場を工夫して設定していきたい。また、教職員数によって継続が難しい教科部会があるため、これまでの積み重ねた実践を精選し、よりよい実践を続けていけるような工夫をしていく必要がある。</p> <p>今年度の本校の実態では、人のために行動したいと考えている児童が8割を越える一方で、自分が人の役に立ったと感じている児童が6割程度だった。児童の自己肯定感を高められるように、日々の積み重ねや小中での交流の機会を生かした効果的な指導方法や振り返りの方法についてさらに検討していきたい。</p>
--	---

令和6年度 幸町三小・二中一貫教育 豊かな人間性育成プログラム(交流活動)

- ・だれとでも協力して活動することができる(協働性)
- ・新しいことをおもしろいと感じることができる(好奇心)
- ・困難があっても乗り越えようとすることができる(打たれ強さ)
- ・自分のよさに気付き、今後につなげようとする(自尊心)

中学校1年生		中学校2年生		中学校3年生	
ふれあい週間	5月	ふれあい週間	5月	ふれあい週間	5月
校外学習	6月	三者面談	7月	三者面談	7月
三者面談	7月	自然教室	2月	思春期ふれあい教室	9月
ふれあい週間	12月	ふれあい週間	12月	進路説明会	10月
三者面談	1月	三者面談	1月	進路面談	11月

小学校の活動 ↓			中学校1年生	中学校2年生	中学校3年生
----------	--	--	--------	--------	--------

1年生	交通安全教室	4月	学校生活の確立を優先させるために、 中学校との交流活動は行いません。					
	学校探検	4月						
2年生	1年生にアサガオの種プレゼント	4月	小中ペア交流 (読み聞かせ・長縄レク)	7・3月				
	学校探検	4月	詩作品交流	11月				
3年生	交通安全教室	4月	外国語交流授業	11月	小中ペア交流 (屋内レク・かるた)	7・3月	小学生の俳句交流	9月
4年生					社会科交流授業	6月	小中ペア交流 (屋外レク・卒業を祝う会)	7・3月
							俳句作品交流	11月
5年生	5年生リーダーによるなかよし活動	2月～	算数・数学交流授業	11月	保健体育 マット運動映像交流	10月		
			外国語ビデオ交流	2月	短歌作品交流	11月		
6年生	なかよし班発足	4月	陸上練習交流(中学校グラウンド使用)			9～10月	短歌作品交流	10月
	陸上練習	9月～	球技練習交流			12・1月		
	家庭科ミシンTT	11月	国語 作品交流 (6年生 「おすすめめの〇〇」、中学生「詩・短歌・俳句」)					1月
	中学校新入生体験入学	2月		外国語作品交流	1月	外国語ビデオ交流	2月	
なのはな	げんき交流会	6月		ポッチャ交流	7月			
				クリスマス交流会	12月			
複数年	施設交流活動		小学校5・6年生が中学校の図書室を利用				通年	
	小中合同あいさつウィーク		小学校の運営委員会と生活委員会・中学校の生活委員会が合同で年間2回実施				6・10月	
	作品交流鑑賞会(図工・美術)		小学校5・6年と中学校3年、小学校1・2年と中学校2年、小学校3・4年と中学校1年				9・10月	
	小中合同自由研究発表会		小学校4・5・6年生、なのはなと中学校1・2年生が中学校の体育館にて発表会				10月	
	小中音楽交流会		小学校5・6年生と中学校の各学年最優秀賞クラスが交流				10月	
	生徒集会		中学校の生徒会集いを小学校6年生が参観				12月	

幸三小・幸二中一貫教育 豊かな人間性育成プログラム(年間行事)

時期	小学校		中学校	
4月	入学式	全学年	入学式	全学年
	1年生を迎える会		新入生歓迎会	
	学級懇談会		授業参観	
5月	スポーツフェスティバル	全学年	体育祭	全学年
	なかよし活動		生徒総会	
6月	表現運動発表会壮行会	全学年	中間テスト	全学年
	なかよし活動		三者面談(5日間)	
	小中合同あいさつウィーク		小中合同あいさつウィーク	
	小中相互授業参観	職員	小中相互授業参観	職員
7月	なかよし活動	全学年	部活動壮行会	全学年
	夏休み前集会		全校集会	
	大掃除		千葉市総合体育大会	
	個人面談			
8月	夏休み明け集会	全学年	全校集会	全学年
9月	なかよし活動	全学年	期末テスト	全学年
			千葉市英語発表会	
			千葉市駅伝大会	
			生徒会役員選挙	
10月	前期終業式	全学年	大掃除	全学年
	後期始業式		前期終業式	
	全校遠足		後期始業式	
	学習参観・引き渡し訓練		潮風祭(合唱コンクール)	
	陸上大会壮行会			
	小中合同あいさつウィーク		小中合同あいさつウィーク	
11月	なかよし活動	全学年	ダンス発表会	出場者
	晩秋の清掃活動		中間テスト	全学年
	小中一貫授業研究会	教科	小中一貫授業研究会	教科
12月	個人面談	全学年	生徒集会	全学年
	大掃除		全校集会	全学年
	冬休み前集会		三者面談(4日間)	1・2年
1月	冬休み明け集会	全学年	全校集会	全学年
	なかよし活動		期末テスト	3年
	球技大会壮行会			
2月	二中体験入学	6年生	中学校体験入学	職員
	学習参観・学級懇談会	全学年	新入生保護者説明会	職員
	なかよし活動		期末テスト	1・2年
	6年生を送る会		千葉県公立高校入試	3年
3月	大掃除	全学年	3年生を送る会	全学年
	お別れ式		大掃除	
	卒業式		卒業式	
	修了式		修了式	
	お別れの会		離任式	
年間	委員会活動 月1回実施 前期5回 後期5回	5・6年 なのはな	専門委員会・中央委員会 前期4回 後期5回 部長会 月1回	全学年 部長

令和5年度 幸町三小・二中 小中一貫教育 確かな学力育成カリキュラム(教科授業)改訂											
教科	めざす15歳の姿	学年	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
国語	他者の見方、考え方と比べながら自分の考えを深め、形成することができる。	身に付けさせる力	叙述を基に捉える、要約する、結びつけて具体的に想像する、自分の感想や考えをもつ。				情報を見つける、展開を考える、表現の効果を考える、要約する、結び付けて解釈する、自分の考えを確かなものにする。			情報を得る、結び付けて解釈する、批判的に読む、評価する、自分の考えを形成する。	
		指導のポイント [重点題材/単元]	考えをもたせる言語活動を設定する。				考えを伝え合う言語活動を設定する。			批評したり討論したりする言語活動を設定する。	
			[たぬきの糸車] [たんぼぼのちえ] [ありの行列] [ごんぎつね]				[大造じいさんとガン] [メディアと人間社会] [大切な人と深くつながるために] [ちょっと立ち止まって] [大人になれなかった弟たちに…]			[君は『最後の晩餐』を知っているか] [新聞の社説を比較して読もう]	
社会	社会事象を多面的・多角的に考察し、課題解決に向けて選択・判断できる。	身に付けさせる力	見つける・比べる、問題を見出し考える。				予想し、検証のための手順を考える。			社会的事象について問題を見出し、解決を図る。	
		指導のポイント [重点題材/単元]					地図や図、グラフ、年表、写真等の資料から情報を読み取る経験をさせる。自分の考えをまとめ、表現する活動を設定する。				考えの根拠や解釈を示しながら、図や文章などで表現したり、説明し合ったりする場を設定する。
			[市の様子] [県の様子]				[わたしたちの国土] [食糧生産] [工業生産] [日本の歴史] [世界の中の日本]			[近代日本の外交(東アジア)]	
算数・数学	事象を数学的に解釈したり、表現・処理したりすることができる。	身に付けさせる力	問題を把握し、見通しをもち、操作活動や図、言葉を用いて分かりやすく伝え合う。				問題に対して、見通しをもって論理的に考察しそれを分かりやすく表現する。			推論の過程を振り返り、考えを深め、発展させる。	
		指導のポイント [重点題材/単元]	具体物や図を用い、相手に分かりやすく説明できるようにする。				根拠を示しながら、筋道立てて説明できるようにする。			数学的な表現を活用して、論理的に考察できるようにする。	
			[数の計算] [図形]				[表を使って考えよう] [変化と対応]			[図形の性質と証明]	
理科	日常生活の科学的な事象に興味をもち、根拠に基づいた科学的思考力が発揮できる。	身に付けさせる力	差異点や共通点に気づき、問題を見出す。既習内容や生活体験を基に根拠ある予想や仮説を発想する。				予想や仮説を基に解決の方法を発想する。より妥当な考えをつくりだす。			根拠をもとに予想し、構想を持ち、計画的に実験を行う。	
		指導のポイント [重点題材/単元]	仮説や予想、実験方法を話し合い、結果を表やグラフにまとめ、考察を発表する活動を設定する。				身近な物理現象の中に問題を見出し、問題解決のための見通しや仮説を立て、解決のために観察・実験を通して仮説の真偽を検証する活動を設定する。			未知の課題についての実験結果をもとに考察し、根拠に基づいて説明する活動を設定する。	
			[とじこめた空気や水]				[身近な物理現象]			[化学変化とイオン]	
音楽	自分の考えや思いを音楽的に表現できる。	身に付けさせる力	音楽の楽しさや美しさを感じ取り、表現しようとする。				主体的に音楽に関わり、様々な音楽活動に取り組む。			曲にふさわしい音楽表現を創意工夫し、協働的に表現する。	
		指導のポイント [重点題材/単元]	音楽集会・クラス間交流を設定する。				グループ練習での話し合い活動を設定して、共通事項の理解と活用を図る。				
			[合奏] [音楽づくり]				[合唱] [鑑賞] [創作] [異学年交流(合唱)]			[鑑賞での批評文]	
図工・美術	美術に対する見方や感じ方を深め、創作活動の喜びを味わうことができる。	身に付けさせる力	創造活動の喜び、作品の面白さや楽しさ、造形的な美しさを感じ取る。				自他のよさに目を向けることにより、自分の見方や感じ方を深める。			自分としての意味や価値を考え、作品で表現する。	
		指導のポイント [重点題材/単元]	水彩画の色の透明感を感じさせる。混色・重色の違いを理解させる。				形や色の工夫を感じさせる。質感の違いの表現方法を理解させる。			作者の思いと作品の良さを感じ取らせる。	
			[かたつむり] [にじいろのさかな] [龍] [もちもちの木]				[靴] [校舎] [My文字]			[シルエットの中の世界] [スプーンの中の自画像]	
保健体育	運動・体力の必要性を理解するとともに、目的に合わせた運動の計画を立てて取り組むことができる。	身に付けさせる力	めあてや場を選んで、運動遊びを工夫する。		めあてや場・作戦等を決定して、運動を工夫する。		めあて・場・作戦等を考えて運動を工夫する。団体競技における自己の役割を果たす。			合理的な課題の解決に向けためあてを考えて練習計画や作戦を立てたり、練習方法を工夫したり改善したりする。	
		指導のポイント [重点題材/単元]	話し合いの仕方と支援を工夫する。めあて・場・作戦等の選択肢を工夫する。				一人一人の違いを認め合い、よさを伝えたりする話し合いの仕方を考え工夫する。			互いの考えを伝え合ったりアドバイスしたりする対話の場を設定させ、それを基に運動を考えさせる。	
			[球技]				[球技]			[球技]	
技術・家庭	よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造することができる。	身に付けさせる力					生活と技術を基礎的に理解する。それらにかかわる技能を身に付ける。			生活や社会の中から問題を見出し、解決する。将来にわたり、生活を工夫したり創造したりする。	
		指導のポイント [重点題材/単元]					教科書の知識と実生活の経験を結び付けることができる機会を設ける。			話し合いや教え合いを通して自分の考えを深める活動を多く設定する。	
							家庭：[目的に応じた衣服の選択] 技術：[情報モラル] [材料と加工の技術]			家庭：[献立作り] 技術：[生物育成の技術]	
外国語・英語	簡単な情報や考えなどを伝え合うことができる。	身に付けさせる力	身近な単語や短文を聞き取り、それらを真似して自分のことを表現する。				身近なことについて聞いたり読んだりしたものを真似して、言ったり写して書いたりして自分の考えや気持ちを伝え合う。			日常的な話題や簡単な情報などについて理解し、それらを活用して自分の考えや気持ちを伝え合う。	
		指導のポイント [重点題材/単元]	絵本を活用して、音素認識を高める。表現する楽しさに気付かせる。				フォニックスを活用して、文字と音の関係についての理解を促す。考えや思いを伝え合う楽しさや大切さを体験させる。			フォニックスを活用して、単語の理解を促す。ねらいに合わせた帯活動・考えや気持ちを伝え合う言語活動を設定する。	
			[帯活動] [外国語活動]				[帯活動] [言語活動]			[帯活動] [Our Project]	
図書	幅広い分野の本を読み、自分の考えを広げることができる。	身に付けさせる力	本に親しむ。				幅広い分野の本に触れ、読書への興味関心を深める。			進んで読書したり、積極的に本について伝え合ったりする	
		指導のポイント [重点活動/交流]	他者と一緒に読書する体験をさせる。				中学生の読む本に触れる機会を設ける。本に対する思いを表現する機会を設ける。			目的に合わせて選書して、自分の考えを伝え合う機会を設ける。	
			[本の読み聞かせ]				[本の読み聞かせ] [中学校での図書室体験] [中学生のおすすめ本の紹介]			[本の紹介]	